

学校に関するアンケート結果について

秋冷の候、保護者の皆様におかれましては、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、1学期末には学校評価のためのアンケートに御協力をいただきましてありがとうございました。その結果につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

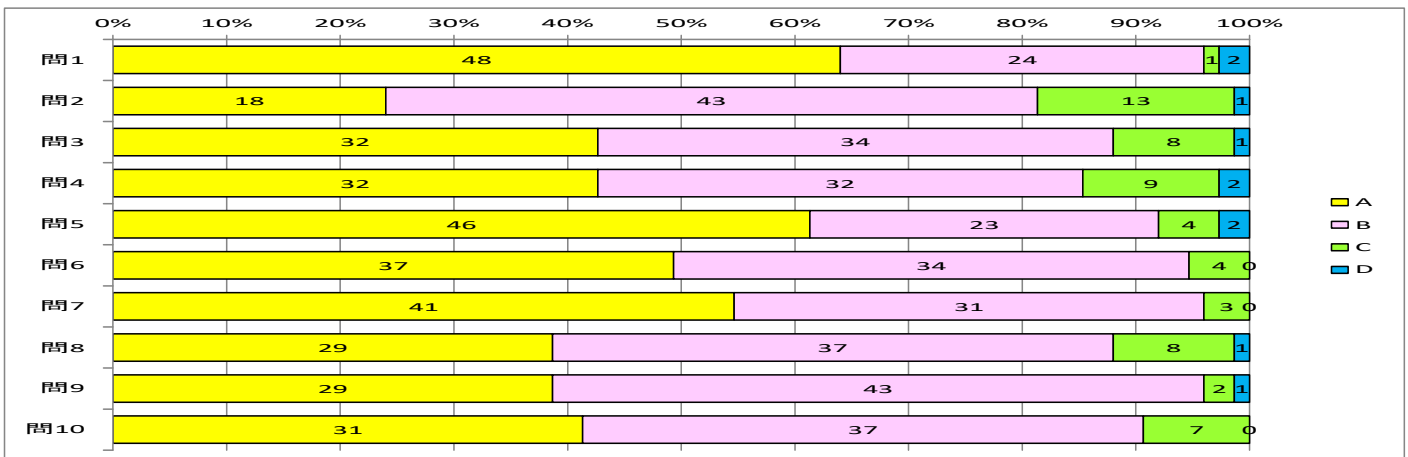
《保護者の設問・結果》

- 問1 お子さんは、「明るく、心豊かな子」に育っていると思われませんか。
 問2 お子さんは、「自ら学び、よく考える子」に育っていると思われませんか。
 問3 お子さんは、「健康で主体的に取り組む子」に育っていると思われませんか。
 問4 お子さんは、「あいさつのできる子」に育っていると思われませんか。
 問5 お子さんは、毎日楽しく登校していると思われませんか。
 問6 学校（学級）の教育方針や子どもの様子は、学校・学級だよりや参観日等で伝わっていますか。
 問7 学校は、子どものことについて気軽に相談できると思われませんか。
 問8 学校は、いじめのない学級づくりに努めていると思われませんか。
 問9 学校は、わかる授業づくりに努めていると思われませんか。
 問10 学校は、安全な教育環境が整っていると思われませんか。

□ 学校に望む（期待する）ことはなんですか。（3つまで選択）

- ①学力向上の推進 ②心の教育や人権教育充実 ③体力向上の推進 ④学校行事充実 ⑤体験活動充実
 ⑥社会ルールやきまりを守る指導 ⑦教職員の資質・指導力の向上 ⑧特別支援教育の充実
 ⑨防災・安全対策の充実 ⑩開かれた学校づくり ⑪施設・設備の充実 ⑫その他

A：そう思う B：ややそう思う C：あまりそう思わない D：そう思わない



【学校に望む（期待する）こと】

3つまで選択

- 心の教育や人権教育の充実 (89.2%)
- 学力向上の推進 (58.5%)
- 社会ルールやきまりを守る指導 (53.8%)
- 体験活動の充実 (30.8%)
- 体力向上の推進 (24.6%)

【自由記述欄（一部抜粋）】

- ・教職員の不適切な言葉遣いや指導法について
- ・高学年児童の言葉遣いや挨拶の仕方について
- ・学校施設（含駐車場）について
- ・PTA活動（含役員会や奉仕作業）について
- ・児童が楽しく登校し、授業や部活動に意欲的に励んでいるなど（複数回答）
- ・教職員の児童や保護者対応および学校環境・登下校指導への感謝など（複数回答）

【保護者のアンケート 考察】

肯定的評価（そう思う・ややそう思うを合計した割合）が、全体で91%であり、10項目すべてが80%以上であった。ここから全体的には概ね達成と思われる評価が得られた。特に問1「明るく豊かな子」、問5「毎日楽しく登校」、問6「学校（学級）の教育方針」、問7「気軽に相談」、問9「わかる授業」、問10「安全な教育環境」の肯定的評価（そう思う・ややそう思うを合計した割合）の割合が90%を超えており、道徳教育の充実や授業改善、学校だよりや学年だより、ホームページでの広報活動が評価されたと考える。逆に問2「自ら学び、よく考える子」、問4「あいさつのできる子」は、いずれも否定的評価が15%以上あり、深刻に受け止めなくてはならない。学校に要望する項目では、昨年度と上位3つは同じ順位である。なお、4位に「⑤体験活動の充実」、5位に「③体力の向上」が入っている。これは昨年度までの校外学習や体育的行事などの削減や縮減の影響が表れていると考えられる。令和5年度は、真に子どもたちに必要な行事を再編し、校外学習や体育的行事を積極的に実施していきたいと考える。

【児童のアンケート設問・結果】

問1 明るく心豊かな子

①友達にやさしくできましたか。 ②友達をいじめたり、悪口などを言ったりしないで仲よく過ごせましたか。

問2 自ら学び、よく考える子

①自分から進んで勉強や宿題ができましたか。 ②自分でよく考え、勉強や生活ができましたか。
③毎日、家庭学習に取り組みましたか。(目安は、学年×10分)

問3 健康で主体的に取り組む子

①体育の授業では、進んで運動ができましたか。
②休み時間や放課後の部活動でたくさん運動ができましたか。

問4 あいさつのできる子

①先生方 ②地域の方 ③おうちの人

問5 毎日楽しく登校できましたか。

問6 先生方は、あなたが困ったときに相談にのってくれましたか。

A : よくできた

B : 少しできた

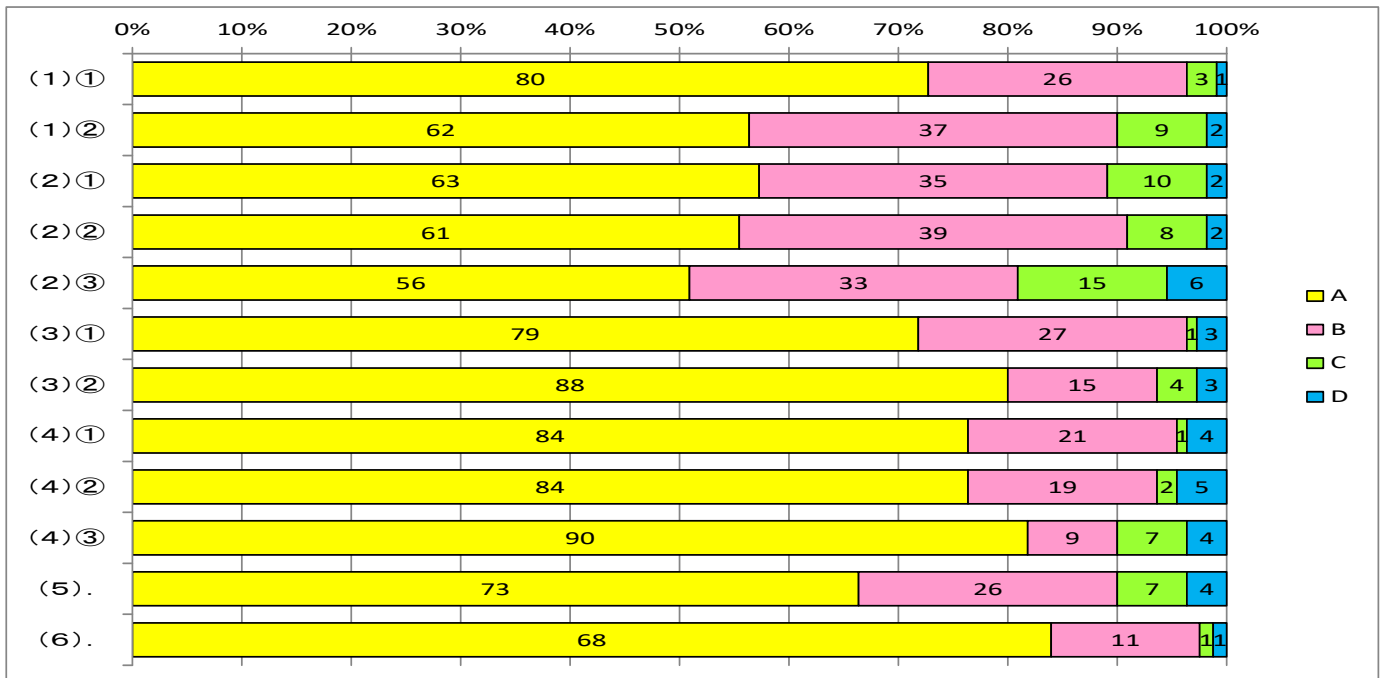
C : あまりできなかった

D : できなかった

【児童のアンケート 考察】

設問全体で肯定的な評価（「よくできた」「少しできた」を合計した割合）が、92%であった。設問全体を通じてよく達成しているという評価が得られた。

肯定的意見が85%であった項目が、12項目中11項目あった。特に(1)①「友達にやさしく」、(3)①「進んで運動」、(4)①「先生方にあいさつ」、(6)①「困ったときの相談」の4項目は肯定的な評価が95%以上と特に高かった。これは学級集団として、人間関係が良好であり、勉強や運動に取り組みやすい環境が影響しているものと思われる。しかし(2)③「毎日の家庭学習」は肯定的な評価が80%で12項目中、昨年度に引き続き最も低かった。家庭学習カードで定着を目指しているが、手立てを工夫していくべき課題である。



全体的な考察

目指す児童像「明るく心豊かな子」「自ら学び、よく考える子」「健康で主体的に取り組む子」の観点から

- 「明るく心豊かな子」については、保護者・子どもたちともに96%が肯定的な評価をしている。また、『学校に望む(期待する)こと』でも「心や人権教育の充実」が最も回答が多く、期待に応じていけるよう、さらに道徳教育の充実を図っていく。
- 「自ら学び、よく考える子」については、子どもたちは90%、保護者は81%と、ともに肯定的な評価であった。『学校に望む(期待する)こと』の2番目に回答が多かった。「学力向上の推進」も踏まえ、2学期は「家庭学習」の意欲化を図りつつ、話し合いや発表などの活動を入れた授業を充実させていきたい。また、保護者の「わかる授業づくり」の肯定的評価は90%であり、さらな授業力向上を目指し、全職員で校内研修を充実させ、取り組んでいく。
- 「健康で主体的に取り組む子」については、保護者は88%(昨年86%)、子どもたちは95%(昨年90%)であり、肯定的な評価が続いている。また、保護者・子どもたちともに昨年度と比べると、増加している。これはコロナ禍で子どもたちが運動不足になり、保護者が健康状況を心配していたが、今年度の1学期から、マスクの着用が個人の判断となり、新型コロナウイルスの感染法上の分類が5月から5類に移行されたため、体育や運動部活動などの活動が制限されなくなり、子どもたちの心身ともに健康な身体づくりが推進されやすくなった影響が大きいと考えられる。今後も感染症の予防に努め、保健教育も継続して行い、「栄養・運動・休養」のバランスのとれた生活の重要性も指導していく。